

男鹿真山伝承館：実演 なまはげ台帳の話：嫁

次に、ナマハゲはイチローの母、ミツコに目を向けます。家長は嫁を非常によく思っており、働き者でよい嫁だと思っています。彼の息子とミツコは結婚して15年になります。ミツコはよその村の出身ですが、この共同体の立派な一員となるのには十分すぎる年月でしょう。しかしナマハゲはミツコに難癖をつけたいようです。ミツコが早起きして家族の朝食を作っていないと非難します。

家長の母がやることを持ち健康でいられるよう、朝食の準備は家長の母がすることになっているのだと家長が主張しますが、ナマハゲはこれを言い訳として突っぱねます。ナマハゲはミツコがよく友達と夜遅くまで出かけていることを明らかにします。家長は早寝のため、このことを知らなかったと言います。

ナマハゲはますます苛立ち、再び主人の家を搜索すると脅します。問答は続きます。家長は家族をかばってしっかりと立ち向かい、ナマハゲに帳面を仕舞いもっと酒を飲むよう懇願します。